

大高高架橋の耐震補強工事が完了しました！

(地震に強い橋梁へ)

岡山国道事務所では、大規模地震時に橋梁の倒壊や落橋の防止、さらに路面に大きな段差が生じないようにするための耐震補強を順次行っています。

このたびは、倉敷市笹沖から西富井地内で実施していた国道2号岡山バイパスにおいて耐震補強工事が完了しました。

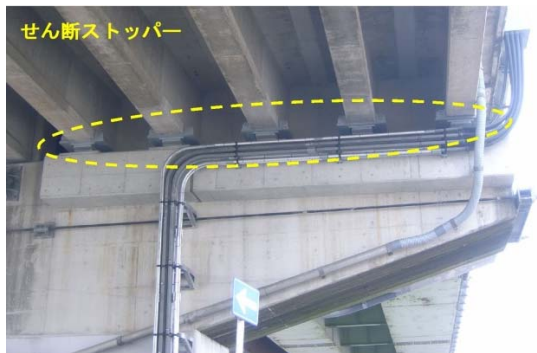


【実施内容】

今回の工事では、地震時の衝撃により橋桁が落下しないようにいろいろな方法で橋梁を補強しています。

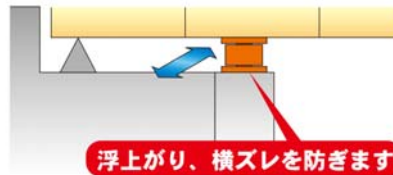
◆変位制限装置(せん断ストッパー)

桁の浮き上がりや横ずれを防ぎます。



変位制限装置

せん断ストッパー



1つの装置で2方向(橋軸方向・橋軸直角方向)の変位に対応して橋が落ちないようにします。

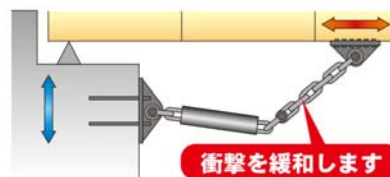
◆落橋防止装置(緩衝チェーン)

地震による衝撃を緩和します。



落橋防止装置

緩衝チェーン



チェーンで桁と橋脚を連結し、地震時の衝撃を緩和して橋が落ちないようにします。

◆沓座拡幅(RC突起)
桁の落下を防ぎます。



しゅうざかくひろく
沓座拡幅



はしげた
橋桁のかかり長を大きくし、コンクリートで突起を
もつ
設けて橋が落ちないようにします。

【工事担当】

工事名：玉島維持管内橋梁耐震補強補修工事

工期：平成28年3月26日から平成29年5月31日まで

施工者：株式会社荒木組

【施工者のコメント】

交通量の多い箇所での工事であったため、一般の方々の通行に支障の無いように注意し車線規制による渋滞や足場からの物の落下等による事故防止に努めました。

また、施工中は、良好な作業環境を保持するために場内の整理整頓、産業廃棄物の仮置きをの減少にも取り組みました。工事期間中は近隣や通行中の皆様にご協力とご理解をいただき無事に工事完了を迎えることができました。



廃棄物は小分けにし、すみやかに工事現場から排出できるように取り組みました。



足場からの資材や工具の落下防止のためシート等で防護し事故防止に努めました。